

## 議事概要

1. 日 時 令和3年3月10日(水) 13時00分～14時30分

2. 場 所 札幌第1合同庁舎 10階1, 2号会議室  
(札幌市北区北8条西2丁目)

3. 出席者

[委員長]

高橋 清 北見工業大学 教授

[委員]

岡田 美弥子 北海道大学大学院 教授

加藤 由紀子 北海商科大学 教授

岸 邦宏 北海道大学大学院 准教授

久保 俊幸 北海道商工会議所連合会 副会頭

島本 和明 日本医療大学 総長

菅井 貴子 気象防災キャスター

4. 議 事

令和3年度予算に向けた道路事業(直轄事業)の新規採択時評価について

- ・一般国道450号(旭川・紋別自動車道)遠軽上湧別道路
- ・一般国道5号 創成川通

【委員からの主な意見】

一般国道450号(旭川・紋別自動車道)遠軽上湧別道路

- ・これまでも申し上げているとおり費用対効果の数値だけでなく、貨幣価値換算できない効果についても評価すべき。
- ・医療を含めた重要施設へのアクセス性向上の観点からインターチェンジの位置が適切に配置されている。
- ・もっと長い延長・区間で事業を進めていくべき。
- ・海外では地域係数を考慮したB/Cを算定している事例もあることから、各地域の状況を踏まえた評価手法があっても良いのではないか。
- ・早期に事業化し整備効果を発現すべき。

一般国道5号 創成川通

- ・地下と地上部をつなぐ出入口が少ないが、通過交通を都心部に入れないという観点を踏まえると適切な計画。
- ・地下トンネル部の効果だけでなく、地上部や周辺の道路にも効果があるという点においても重要な事業。

- ・ 創成川通の最も大きな効果の1つである所要時間のばらつき解消はB / Cでは計上されていないが極めて重要な効果。B / Cで計上できない効果についても積極的に発信していくべき。
- ・ コロナ禍においても道路の必要性はデータの的にも変わっておらず、北海道の将来を見据え、今整備すべき。
- ・ 全道と札幌都心部をつなぎ、札幌のみならず北海道全体に効果をもたらす事業であり、早期の整備が必要。

#### 【委員長による総括】

- ・ 一般国道450号（旭川・紋別自動車道）遠軽上湧別道路
- ・ 一般国道5号 創成川通  
の新規事業化については妥当である。